

北海道大学 サステナビリティ・ウィーク 2007

年次記録

HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 サステナビリティ・ウィーク 2007

市民向け
公開講座

地球環境問題を話し合う「08北海道持続性サミット」は2008年に開催されるのに先駆け北海道大学は、研究者が最新した重要な課題課題を市民の皆様にご覧します。地球環境はどれくらい変化してきたのか?どのように自然と付き合ってゆけばいいの?世界中で快適な社会を続けるには、何をしたらいいのか?こうした研究課題について、「解明したこと」や「これからもっと研究が必要なこと」を、第一線の研究者が分かりやすく説明します。

講演 20日(土) **自然再生と地域再生——自然の順応的管理と社会**

●と き: 2007年10月20日(土) 13:00~16:30
●と ころ: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W203教室
【主催者: 文学部文学科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の島根人文学」】【共催者: 大森大博士・エコパランス・プロジェクト
内田洋行株式会社 大学院文学研究科 宮内孝介 TEL: 011-706-4150 E-mail: miyouchi@wsl.hokudai.ac.jp

講演 21日(日) **地球温暖化で北海道の環境はどう変わるか?**

●と き: 2007年10月21日(日) 13:30~17:30
●と ころ: 「U-caia」内田洋行北海道支社1F
【主催者: 文学部文学科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の島根人文学」】【共催者: 大森大博士・エコパランス・プロジェクト
内田洋行株式会社 内田洋行北海道支社 TEL: 011-706-2093 E-mail: kokoro@general.hokudai.ac.jp

講演 24日(水) **水環境とのつきあい方を展望する**

●と き: 2007年10月24日(水) 9:00~12:00
●と ころ: ホテル・ロイトン札幌
【主催者: 内田洋行株式会社「U-caia」プロジェクト「環境と公正の島根人文学」】【共催者: 大森大博士・エコパランス・プロジェクト
内田洋行株式会社 TEL: 011-706-2160 E-mail: kokoro@general.hokudai.ac.jp

参加費 無料

●お申し込みのウェブサイトURL: <https://www.sustain.hokudai.jp/week>
●人数: 各々先着150人、定員になり次第締め切ります。●申込締切日: 10月21日(金)

【お申し込み方法】
メール、電話、FAXにてお申し込み下さい。詳細は事務局までお問合せ下さい。

北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局
2017年3月

本書について

本書は、2007年に北海道大学が開始した持続可能な社会の実現に向けた研究・教育の促進強化イベント「サステナビリティ・ウィーク」および関連行事の2007年度の年次記録です。主に、ウェブサイトをそのままPDF化して集約しています。

サステナビリティ・ウィーク企画者の熱い想いを可能な限り記録に残すことに努めました。よって、イベント開催当時の2007年時点の情報のため、掲載しているウェブサイトURLがリンク切れしていたり、一部の行事概要や詳細が欠けていたり、無効な連絡先を掲載している場合があります。

なお、本書はサステナビリティ・ウィーク2007と関連行事に関する日本語の報告書ですが、同内容を英語でも公開しています。また、他年度の報告書も両言語で公開していますので、是非ご覧ください。

また、当時の開催イベントに関するお問い合わせについては、詳細をお答えするのが難しいこと、予めご了承ください。持続可能な社会の実現に向けて、本書をお役立て頂ければ幸いです。

2017年3月

北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局

目 次

1. サステナビリティ・ウィーク 2007 の概要	
1.1 本年の特徴.....	2
1.2 サステナビリティ・ウィーク 2007 ウェブサイト.....	3
1.3 市民向け公開講座 チラシ.....	5
2. 開催行事のウェブサイト	
2.1 サステナビリティ・ウィーク行事一覧（2007年10月20日～31日）.....	10
2.2 サステナビリティ・マラソン行事一覧（2007年9月～11月）.....	13
2.3 サステナビリティ・マラソン行事一覧（2007年12月～2008年3月）.....	17
3. 関連行事	
3.1 国連グローバルセミナー2007	
3.1.1 募集要項.....	22
3.1.2 報告記事.....	26

1. サステナビリティ・ウィーク 2007 の概要

本年の特徴

- ・開催期間 : 2007年10月20日～10月31日
- ・参加者数 : 約800人
- ・企画数 : 6企画
- ・特筆事項 :
 - 総長を議長とする「持続可能な開発」国際戦略推進会議は、北海道大学の「持続可能な開発」分野における国際活動の周知と大学ブランドの形成に向け、サステナビリティ・ウィーク(SW)事業の開始を決定した。
 - 主要国首脳会議「G8北海道洞爺湖サミット」の2008年7月開催に先立ち、同推進会議の下に「サミット対応ワーキング・グループ」を設置した。また、サステナビリティ・ウィーク2007を包含する2007年9月から2008年7月を期間として「サステナビリティ・マラソン」と名付けたキャンペーンを行うことを決定した。これは、持続可能な社会づくりに向けた研究と教育を推進すべく関連する国際シンポジウムや市民講座を断続的に開催する企画である。
 - サステナビリティ・マラソンの一環で、2007年度中(2007年9月～2008年3月)に開催された企画は29あった(SW2007を含む)。
 - SW事業と平行し、国連大学との連携強化が図られた。ひとつは、持続可能な開発に係る大学院教育の発展を目的に、国連大学高等研究所と協力してアジア-太平洋地域を牽引する大学と共に、大学コンソーシアム“Promotion of Sustainability in Postgraduate Education and Research Network (ProsPER.Net: プロスパーネット)”を構築することとなった。そして、次年度のサステナビリティ・ウィーク中に北海道大学にて設立総会を行うこととなった。また、国連大学との共催で国連大学グローバルセミナー第7回北海道セッション「グローバル化時代の森林と環境～北の大地で考えるサステナビリティ～」を、北海道大学の札幌キャンパスと苫小牧研究林を使い8月22～25日に開催し、33名の大学生が参加した。

サステナビリティ・ウィーク2007

日程

2007年10月20日～31日 **(終了しました)**

10月20日～31日に、「サステナビリティ・ウィーク2007」を開催しました。

3つの市民講座、2つの国際シンポジウム、新研究棟の開所式を開催し、延べ800人以上が参加しました。



市民向け公開講座は、地球環境問題を話し合う「G8北海道洞爺湖サミット」が2008年に開催されるのに先駆け、研究者が解明した重要な環境課題を市民に公開することを目的として開催されました。

市民公開講座：自然再生と地域再生－自然の順応的管理と社会－

- 日付：10月20日
- 主催者：文学研究科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の応用人文学」
- 共催者：サステナビリティ・ガバナンス・プロジェクト
- 会場（言語）：人文・社会科学総合教育研究棟W203教室（日本語）

市民公開講座：地球温暖化で北海道の環境はどう変わるのか？-

- 日付：10月21日
- 主催者：「持続可能な開発」国際戦略本部
- 会場（言語）：「U-cala（ユーカラ）」内田洋行北海道支社1F（日本語）

市民公開講座：水環境とのつきあい方を展望する-

- 日付：10月24日
- 主催者：21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」
- 会場（言語）：ホテル・ロイトン札幌（日本語）

持続可能な水環境 国際会議

International Conference on Sustainable Water Environment: Integrated Water Resources Management - New Steps

- 日付：10月24日～10月25日
- 主催者：21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」
- 会場（言語）：ホテル・ロイトン札幌（英語）

人獣共通感染症リサーチセンター実験研究棟落成記念式典

Opening Ceremony of Research Center for Zoonosis Control

- 日付：10月30日
- 主催者：人獣共通感染症リサーチセンター
- 会場（言語）：人獣共通感染症リサーチセンター（英語）

人獣共通感染症制圧のための国際シンポジウム「人獣共通感染症と戦うために」

International Symposium for Zoonosis Control - Prescription for Fighting against Zoonoses

- 日付：10月31日
- 主催者：21世紀COEプログラム「人獣共通感染症制圧のための研究開発」
- 会場：北海道大学 学術交流会館（英語）

北海道大学の組織 | 工学院, サステナビリティ・ウィーク2007, 「持続可能な開発」国際戦略本部, 人獣共通感染症リサーチセンター, 文学研究科

カテゴリ | 会議・シンポジウム・フォーラム・セミナー

北海道大学 サステナビリティ・ウィーク 2007

市民向け
公開講座

地球環境問題を話し合う“G8北海道洞爺湖サミット”が2008年に開催されるのに先駆け北海道大学は、研究者が解明した重要な環境課題を市民の皆様に公開します。地球環境はどれくらい変化してきたのか?どのように自然と付き合えばいいのか?安全で快適な社会を続けるには、何をしたらいいのか?こういった研究課題について、「解明したこと」や「これからもっと研究が必要なこと」を、第一線の研究者が分かりやすく説明します。

講演

20日(土)

自然再生と地域再生——自然の順応的管理と社会

●と き: 2007年10月20日(土) 13:00~16:30

●と ころ: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W203教室

□主催者: 文学研究科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の応用人文学」 □共催者: サステナビリティ・ガバナンス・プロジェクト
問い合わせ先: 大学院文学研究科 宮内泰介 TEL 011-706-4150 E-mail: miyauchi@let.hokudai.ac.jp

講演

21日(日)

地球温暖化で北海道の環境はどう変わるか?

●と き: 2007年10月21日(日) 13:30~17:30

●と ころ: 「U-cala」^{ユーカラ} 内田洋行北海道支社1F

主催・問い合わせ先: 「持続可能な開発」国際戦略本部 TEL 011-706-2093 E-mail: kokuryu@general.hokudai.ac.jp

講演

24日(水)

水環境とのつきあい方を展望する

●と き: 2007年10月24日(水) 9:00~12:00

●と ころ: ホテル・ロイトン札幌

主催・問い合わせ先: 21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」
TEL 011-706-7162 E-mail: tk@eng.hokudai.ac.jp

参加費
無料

●お申し込みウェブサイト URL: <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/week>

●人 数: 各々先着150人、定員になり次第締め切ります。●申込開始日: 9月21日(金)

【お申し込み方法】

メール、電話、FAXにてお申し込み下さい。
詳細は裏面をご参照下さい。

G8 北海道洞爺湖サミットに向け北海道大学は、

Sustainability Research and Education Promotion Marathon

「接続可能な社会づくりに向けた研究・教育推進キャンペーン」を2007年9月に開始しました。

持続可能な社会のあり方を考える週間

さらに、10月下旬を「サステナビリティ・ウィーク 2007」と設定し、市民向け公開講座「第一弾」を開催します。

講演

20日(土)

自然再生と地域再生——自然の順応的管理と社会

●と き: 2007年10月20日(土) 13:00~16:30

□主催者: 文学研究科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の応用人文学」

●ところ: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟W203教室

□共催者: サステナビリティ・ガバナンス・プロジェクト

12:30	受付開始
13:00	開会
13:10	講演「コウノトリから見えてくる地域の保全」 池田啓(兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長、兵庫県立大学教授)
	報告「これからの自然環境管理の思想」 鬼頭秀一(東京大学教授)
14:00	「不確実な科学、不確実な未来と地域環境」 佐藤哲(長野大学教授、元WWFジャパン自然保護室長)
	「アダプティブ・ガバナンスと市民調査」 宮内泰介(北海道大学文学研究科准教授)
15:00	パネル・ディスカッション

講演

21日(日)

地球温暖化で北海道の環境はどう変わるか?

●と き: 2007年10月21日(日) 13:30~17:30

□主催者: 「持続可能な開発」国際戦略本部

●ところ: 「U-cala」内田洋行北海道支社1F(札幌市中央区大通東3)

□後 援: 札幌市、札幌国際プラザ

聞き手: 隈本邦彦
科学技術コミュニケーター
養成ユニット特任教授

13:00	受付開始
13:30	開会
13:40	講演1: 地球温暖化を防ぐにはどの程度CO ₂ を削減すべきか? 山中康裕(北海道大学環境科学院准教授)
14:30	講演2: 地球温暖化のカナリア オホーツク海 中野渡拓也(北海道大学低温科学研究所博士研究員)
15:15	講演3: 地球温暖化に伴う水産食糧資源の将来展望 帰山雅秀(北海道大学水産科学院教授)
15:45	質問・討論
終了後	交流会

※11月17日(土)には公開講座第2弾を同会場で開催します。

講演

24日(水)

水環境とのつきあい方を展望する

●と き: 2007年10月24日(水) 9:00~12:00

□主催者: 21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」

●ところ: ホテル・ロイトン札幌(札幌市中央区北1条西11-1)

□後 援: 北海道河川防災研究センター、札幌国際プラザ

(全て英語講演
同時通訳あり)

8:30	受付開始
9:00	開会
9:20	講演1: 持続的な水利用を可能にする水管理システム ピーター・ワイルダラー(ヨーロッパ科学技術アカデミー所長)
10:20	講演2: 総合的な水源管理のとりくみ 丹保憲仁(北海道大学名誉教授)
11:20	講演3: 水環境と鳥インフルエンザの関係 喜田宏(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター長)

※10月30日(火)には人獣共通感染症リサーチセンターの新しい研究施設の開所式が行われます。

お申し込みFAX用紙

●お申し込みは、メール、電話、FAXにてお申し込み下さい。



●下記ウェブサイトよりお申し込み下さい。

URL: <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/week>

下記お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、各々のお申し込み先へFAXをお送り下さい。

●10月21日講演分お申し込み先

「持続可能な開発」国際戦略本部

☎ 011-706-2093
FAX 011-706-2095

●10月24日講演分お申し込み先

21世紀COEプログラム

☎ 011-706-7162
FAX 011-706-7366

●10月20日講演の

お申し込みは不要です。
直接会場までお越し下さい。

■ご記入欄

お名前	フリガナ			F A X 番 号	-	-			
	北海道	市 町 村	年 齢		・~10代	・20代	・30代	・40代	・50代
ご住所	お申し込み			・10月21日講演分	・10月24日講演分				

市民向け 公開講座 《第2弾》

世界はいかに 地球温暖化に立ち向かうのか？

地球環境問題を話し合う“G8北海道洞爺湖サミット”が2008年に開催されるのに先駆け北海道大学は、環境課題に関するこれまでの研究成果を市民の皆様へ公開しています。

市民講座・第2弾では、地球温暖化を食い止めようとする国際的な動きについて最新情報をご提供します。

10年前、地球温暖化がこれ以上進行しないようにと願う幾つかの国が集まって『京都議定書』という名の国際ルールを作りました。その有効期限が、2012年で切れます。そこで、京都議定書に代わる新しい国際ルールを作るための会議*が、12月にインドネシア・バリで開催されます。この新ルールは、経済や生活などに大きな影響を与えます。G8各国は新ルールに極めて高い関心を持っており、来年8月に開催されるG8北海道洞爺湖サミットでもルールの中身が話し合われる予定です。

この”新ルール”に係わる世界の国々の動きについて関心のある方、国際会議の焦点をより一層理解したい方は、ぜひ第2回市民講座にご参加ください。

*気候変動枠組条約第13回締約国会議のこと。通称COP13（コップ13）と呼ばれる。



●と き：2007年11月17日（土）14:00～17:00

●ところ：ユビキタス協創広場「U-cala」^{ユーカラ} 内田洋行北海道支社1F（札幌市中央区大通東3）

□主催者：北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部、公共政策大学院 □後援：札幌国際プラザ

参加費
無料

- お申し込みウェブサイト URL:<http://www.sustain.hokudai.ac.jp/1117>
- 人 数：先着150人、定員になり次第締め切ります。●申込開始日：10月21日（日）

この行事は「持続可能な社会づくりに向けた研究・教育推進キャンペーン」の一環です。

【お申し込み方法】

メール、電話、FAXにてお申し込み下さい。
詳細は裏面をご参照下さい。

G8 北海道洞爺湖サミットに向け北海道大学は、

「持続可能な社会づくりに向けた研究・教育推進キャンペーン」

サステナビリティ リサーチ アンド エデュケーション プロモーション マラソン

”Sustainability Research and Education Promotion Marathon”を2007年9月に開始しました。

毎月、国際会議や市民講座、ワークショップを開催して、持続可能な社会づくりへの関心と行動を喚起して行きます。

取り組みの詳細はウェブサイトでご紹介しています。http://www.sustain.hokudai.ac.jp/g8

市民向け
公開講座
〈第2弾〉

世界はいかに 地球温暖化に立ち向かうのか？

●と き:2007年11月17日(土) 14:00~17:00

●ところ:ユビキタス協創広場「U-cala」^{ユーカー}

内田洋行北海道支社1F(札幌市中央区大通東3)

□主催者:北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部、公共政策大学院 □後援:札幌国際プラザ



14:00	開会
14:10	講演「世界の国々はいかに地球温暖化に立ち向かうのか?—京都議定書後の国際取り決めに向けて—」 堀口健夫(北海道大学大学院公共政策大学院准教授)
15:00	講演「中国はいかに地球温暖化に立ち向かうのか?」(英語講演、通訳付) 張坤民(元中国国家環境保護局副局长、清華大学・北京大学教授)
15:50	休憩
16:00	講演「G8 はいかに地球温暖化に立ち向かうのか?」 南川秀樹(環境省地球環境局長)
16:30	講演「市民はいかに地球温暖化に立ち向かうのか?」 杉山さかえ(北海道グリーンファンド 理事長)
16:40	総合質疑
17:00	閉会

北海道大学の公共政策大学院や工学研究科、地球環境科学院などでは、環境経済学や環境法、地球環境学、森林政策学といった分野の数多くの専門家が持続可能な社会を実現するために必要な公共政策のあり方を研究し、政策の担い手を育成しています。

お申し込みFAX用紙

(メール、電話、FAXにてお申し込み下さい)

下記お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込み先へFAXをお送り下さい。



●下記ウェブサイトよりお申し込み下さい。

URL:<http://www.sustain.hokudai.ac.jp/1117>

北海道大学
「持続可能な開発」
国際戦略本部

☎ 011-706-2093

FAX 011-706-2095

■ご記入欄

お名前	フリガナ	F A X 番 号	-
ご住所	北海道 市 町 村	年 齢	・~10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代~

2. 開催行事のウェブサイト

| サステナビリティ・ウィーク行事一覧

2007年10月20日～31日

開催期間	2007年10月20日 終了
行事名（日本語）	市民公開講座：自然再生と地域再生－自然の順応的管理と社会
主催者	文学研究科特色ある研究プロジェクト「環境と公正の応用人文 学」
会場	人文・社会科学総合教育研究棟W203教室
URL	http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/week/
問い合わせ先	－

言語 日本語

開催期間	2007年10月21日 終了
行事名（日本語）	市民公開講座：地球温暖化で北海道の環境はどう変わるのか？
主催者	「持続可能な開発」国際戦略本部
会場	「U-cala (ユーカラ)」内田洋行北海道支社 1F
URL	http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/week/
問い合わせ先	－

言語 日本語

開催期間	2007年10月24日 終了
行事名（日本語）	市民公開講座：水環境とのつきあい方を展望する
主催者	21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝シ テム」
会場	ホテル・ロイトン札幌
URL	http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/week/
問い合わせ先	－

言語 日本語

開催期間	2007年10月24日～25日 終了
行事名（日本語）	持続可能な水環境 国際会議
行事名（英語）	International Conference on Sustainable Water Environment: Integrated Water Resources Management - New Steps
主催者	21世紀 COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」
会場	ホテル・ロイトン札幌
URL	http://www.eng.hokudai.ac.jp/COE-area/topics/pdf/071024IC.pdf
問い合わせ先	－

言語 英語

開催期間	2007年10月27日 終了
行事名（日本語）	市民公開講座：先住民族アートの模倣問題 －アメリカ先住民族ホピのジュエリーを事例として
主催者	アイヌ・先住民研究センター
会場	人文・社会科学総合教育研究棟W30 教室
URL	http://www.hokudai.ac.jp/letters/ainu/files/1027.pdf
問い合わせ先	－

言語 日本語

開催期間	2007年10月30日 終了
行事名（日本語）	人獣共通感染症リサーチセンター実験研究棟落成記念式典
行事名（英語）	Opening Ceremony of Research Center for Zoonosis Control
主催者	人獣共通感染症リサーチセンター
会場	人獣共通感染症リサーチセンター
URL	－
問い合わせ先	－

言語 英語

開催期間	2007年10月31日 終了
行事名（日本語）	人獣共通感染症制圧のための国際シンポジウム「人獣共通感染症と戦うために」
行事名（英語）	International Symposium for Zoonosis Control - Prescription for Fighting against Zoonoses
主催者	21世紀 COE プログラム「人獣共通感染症制圧のための研究開発」
会場	学術交流会館
URL	http://www.vetmed.hokudai.ac.jp/coe/event/14th_program.pdf
問い合わせ先	-

言語 英語

| サステナビリティ・マラソン行事一覧

2007年9～11月

開催期間	2007年9月11日～ 9月27日 終了
行事名 (日本語)	国際連携体制構築に向けた人獣共通感染症対策トレーニングコース2007
行事名 (英語)	Zoonosis Control Training Course for International Collaboration Centers 2007
主催者	獣医学研究科
会場	学内
URL	—
問い合わせ先	—

言語 英語

開催期間	2007年9月17日～10月11日 終了
行事名 (日本語)	アフリカ地域森林エコツーリズムの推進による地域経済活性化研修
行事名 (英語)	Training Course: Promoting Forest Ecotourism to Revitalize Regional Economies in Africa
主催者	農学研究院
会場	学内外
URL	—
問い合わせ先	—

言語 英語

開催期間	2007年9月21日～9月22日 終了
行事名（日本語）	触媒のその場構造解析の現状と将来 国際シンポジウム
行事名（英語）	Int'l Symposium on In-situ Characterization of Catalyst -Presence and Future Aspects
主催者	触媒化学研究センター
会場	創成科学研究機構
URL	http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~q16691/20thCRC_IS/index.htm
問い合わせ先	-

言語 英語

開催期間	2007年9月24日～9月25日 終了
行事名（日本語）	日露学生フォーラム 2007「日本とロシアー未来志向の持続可能な発展」
主催者	「持続可能な開発」国際戦略本部
会場	学術交流会館
URL	http://www.jrex.or.jp/ja/ja_noindex.html
問い合わせ先	-

言語 英語

開催期間	2007年9月25日～9月26日 終了
行事名（日本語）	酸性土壌におけるバイオマスと食料生産のための植物科学 国際シンポジウム
行事名（英語）	International Symposium on Plant Science for Biomass & Food Production in Acid Soil - Recent Advances Physiology, Genetics and Genomics Studies -
主催者	創成科学研究機構・流動研究部門 未踏系
会場	創成科学研究機構
URL	-
問い合わせ先	-

言語 英語

開催期間	2007年9月25日 終了
行事名（日本語）	クロスカップリングと有機金属触媒 CRC 国際シンポジウム (於フランスリヨン)
行事名（英語）	CRC International Symposium in Lyon on Cross-Coupling & Organometallics (in France)
主催者	触媒化学研究センター
会場	リヨン大学
URL	http://www.cpe.fr/crcsymposium/
問い合わせ先	-

言語 英語

開催期間	2007年10月1日～10月5日 終了
行事名（日本語）	自然界における多様性の起源と進化 国際シンポジウム
行事名（英語）	International Symposium on The Origin and Evolution of Natural Diversity
主催者	触媒化学研究センター
会場	学术交流会館
URL	http://nature.sci.hokudai.ac.jp/symposium/origin-program914.pdf
問い合わせ先	-

言語 英語

開催期間 2007年11月17日 **終了**

行事名（日本語） 市民公開講座：世界はいかに地球温暖化に立ち向かうのか？

主催者 「持続可能な開発」国際戦略本部，公共政策大学院

会場 「U-cala (ユーカラ)」内田洋行北海道支社 1F

URL <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/1117/>

問い合わせ先 -

言語 日本語

市民向け

開催期間 2007年11月17日 **終了**

行事名（日本語） 市民公開講座：「先住民族の権利に関する国際連合宣言」の採択とその意義

主催者 アイヌ・先住民研究センター

会場 人文・社会科学総合教育研究棟W309 教室

URL <http://www.cais.hokudai.ac.jp/files/1117.pdf>

問い合わせ先 -

言語 日本語

開催期間 2007年11月30日 **終了**

行事名（日本語） 市民公開講座：言葉を再び活性化するために役立つオンライン資料ーハワイ語の事例を中心にー

主催者 アイヌ・先住民研究センター

会場 人文・社会科学総合教育研究棟W309教室

URL <http://www.cais.hokudai.ac.jp/files/1117.pdf>

問い合わせ先 -

言語 日本語

市民向け

大学生向け

| サステナビリティ・マラソン行事一覧

2007年12月～2008年3月

開催期間	2007年12月15日～12月16日 終了
行事名（日本語）	国際シンポジウム：アイヌ文化振興法の過去・現在・未来
行事名（英語）	CAIS International Symposium – Ainu Culture Promotion Law : Its Past, Present and Future
主催者	アイヌ・先住民研究センター
会場	人文社会科学総合研究棟 2F W203号室
URL	http://www.cais.hokudai.ac.jp/files/sympo2007.pdf
問い合わせ先	－

言語 日本語・英語

市民向け

開催期間	2008年1月16日～1月24日 終了
行事名（日本語）	鳥インフルエンザ防除対策ワークショップ
行事名（英語）	Region Workshop for Avian Influenza Control
主催者	獣医学研究科
会場	人獣共通感染症リサーチセンター
URL	－
問い合わせ先	－

言語 英語

専門家向け

開催期間	2008年1月23日 終了
行事名（日本語）	性差研究の作る道：性差医療
行事名（英語）	Frontiers of Gender Studies: Gender Medicine
主催者	ジェンダーに関する研究教育体制整備検討作業部会
会場	人文社会科学総合教育研究棟 W103号室
URL	ポスター (PDF 620KB)
問い合わせ先	北海道大学大学院文学研究科 瀬名波 栄潤 TEL : 011-706-4085

言語 日本語

市民向け

大学生向け

開催期間	2008年1月24日～26日 終了
行事名（日本語）	ソウル大学－北海道大学ジョイント・シンポジウム
行事名（英語）	Seoul National University and Hokkaido University Joint Symposium
主催者	ソウル大学, 北海道大学
会場	ソウル大学
URL	－
問い合わせ先	北海道大学 学術国際部国際企画課 TEL:011-706-2334

言語 英語

専門家向け

開催期間	2008年1月30日 終了
行事名（日本語）	環オホーツク海国際シンポジウム～北海道とロシア極東地域との経済及び環境面における交流の拡大に向けて～
行事名（英語）	Pan-Okhotsk Region International Symposium
主催者	国土交通省北海道開発局、北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部
会場	きょうさいサロン 8階「芙蓉の間」（札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル）
URL	http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw2008/okhotsk ,ポスター (PDF 260KB)
問い合わせ先	国土交通省北海道開発局開発監理部開発調査課社会開発係 TEL：011-709-2311 (内線5440)

言語 日本語

専門家向け

開催期間	2008年2月8日 16:30～18:00 (開場16:00) 終了
行事名（日本語）	佐藤 卓 in北海道大学 環境から学ぶデザイン
主催者	北大総務部広報課
会場	人文・社会科学総合教育研究棟1階 W103号室
URL	http://www.hokudai.ac.jp/shinchaku.php?did=205
問い合わせ先	北大総務部広報課 TEL:011-706-2610 E-MAIL : kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

言語 日本語

市民向け

大学生向け

開催期間	2008年2月12日 10:00～12:00 終了
行事名 (日本語)	気候変動とわたしたちの安全について
行事名 (英語)	Climate Change and Human Security
主催者	GLP(Global Land Project) 札幌オフィス
会場	北海道大学 サステナビリティ・ガバナンス・プロジェクト (SGP) 1階～札幌市北区北9条西8丁目
URL	ポスター (PDF 170KB)～英語
問い合わせ先	-

言語 英語

専門家向け

開催期間	2008年2月29日～3月3日 終了
行事名 (日本語)	北海道大学観光創造フォーラム ～ネオツーリズムの創造に向けて～
主催者	北海道大学観光学高等研究センター
会場	札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
URL	http://www.cats.hokudai.ac.jp/~shikida-seminar/forumtop.htm
問い合わせ先	E-mail : h_tourismforum@yahoo.co.jp

言語 日本語

専門家向け

要申し込み

開催期間	2008年3月8日 14:00～15:30 終了
行事名 (日本語)	北海道大学 エコ・ガイダンス in 東京
主催者	科学技術コミュニケーターユニット (CoSTEP)
会場	地球環境パートナーシップオフィス EPO (東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B2F)
URL	http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/event/detail.php?id=81&type=event
問い合わせ先	ecotour[at]costep.hucc.hokudai.ac.jp

言語 日本語

高校生向け

市民向け

要申し込み

入場無料

開催期間	2008年3月8日～9日 10:00～17:30 終了
行事名 (日本語)	北大デイズ (於：北京市)
行事名 (英語)	Hokkaido University Days (in Beijing)
主催者	北海道大学北京オフィス
会場	北京科技大学会議センター (北京市海淀区学院路30号)
URL	-
問い合わせ先	kokuryu[at]general.hokudai.ac.jp
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">言語 中国語・日本語</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">大学生向け</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">高校生向け</div> </div>	

開催期間	2008年3月11日(火) 9:30～17:15 終了
行事名 (日本語)	イノベーション創出と数学研究－諸科学・産業技術の「知の深み」を目指して－
主催者	北海道大学 (文部科学省委託業務「イノベーションの創出のための数学研究の振興に関する調査」)
会場	京王プラザホテル札幌 B1 プラザホール (JR 札幌駅より西進徒歩5分)
URL	http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/math-innovation/
ポスター	PDF 735KB
問い合わせ先	math-innovation[at]math.sci.hokudai.ac.jp
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">言語 日本語・英語</div> <div style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">通訳あり</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">専門家向け</div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">要申し込み</div> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">入場無料</div> </div>	

開催期間	2008年3月23日(日) 13:30～16:00 終了
行事名 (日本語)	市民公開講座：地球温暖化をめぐる交渉のゆくえ－何が問題で、何をしたらよいか？
主催者	「持続可能な開発」国際戦略本部、公共政策大学院
講演者	宮本 融 (公共政策大学院 特任准教授)
会場	内田洋行北海道支社1階「ユーカーラ」 (札幌市中央区大通り東3)
URL	http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/0323/
問い合わせ先	「持続可能な開発」国際戦略本部 TEL : 011-706-2093 E-mail : office2@sustain.hokudai.ac.jp
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">言語 日本語</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">市民向け</div> <div style="background-color: #FF8C00; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">大学生向け</div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">要申し込み</div> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">入場無料</div> </div>	

3. 関連行事



グローバル化時代の森林と環境 ～北の大地で考えるサステナビリティ～

Forests and the Environment in the Era of Globalization:
Considering Global Sustainability in Hokkaido

2007.08.22-25 (水～土)

公開講座: 北海道大学札幌キャンパス
Public Lectures: Hokkaido University Sapporo Campus

セミナー: 北海道大学苫小牧研究林
Seminar: Tomakomai Experimental Forest

主催: 国連大学
共催: 北海道大学

後援: 外務省、文部科学省、環境省、北海道、札幌市、北海道経済連合会、白老町、むかわ町

協力大学: 北海道教育大学、小樽商科大学、北海学園大学、北星学園大学

協賛: 北海道電力(株)、(株)ニトリ、(株)北洋銀行、北海道旅客鉄道(株)、(株)アークス、(株)タカノ、(株)土屋ホーム、伊藤組グループ、(株)北海道銀行、北海道空港(株)、北海道瓦斯(株)

Organized by: United Nations University

Co-organized by: Hokkaido University

Supported by: Ministry of Foreign Affairs, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Ministry of the Environment, Hokkaido Government, City of Sapporo, Hokkaido Economic Federation, Shiraoi Town, Mukawa Town

Cooperating Universities: Hokkaido University of Education, Otaru University of Commerce, Hokkai-Gakuen University, Hokusei Gakuen University

Sponsored by: Hokkaido Electric Power Co., Inc., Nitori, Ltd., North Pacific Bank, Ltd., Hokkaido Railway Co., Ltd., ARCS Co., Ltd., TAQANO CO., LTD., Tsuchiya Home, Ltd., Itogumi Group, Hokkaido Bank, Ltd., Hokkaido Airport Terminal Co., Ltd., Hokkaido Gas Co., Ltd.

セミナーのねらい Objectives

国連大学グローバルセミナーは、現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取り組みについての意識を高めることを目的に開催されています。第7回北海道セッションは、「グローバル化時代の森林と環境～北の大地で考えるサステナビリティ～」をテーマに、札幌市の北海道大学と苫小牧研究林で開催されます。次世代によりよい環境を引き継いでいくためには、どのような取り組みが必要かなど、グローバルな課題を、実際に森林に身を置き、地域における自然環境保全活動や、エネルギー問題などへの取り組みに関するフィールドワークを通じて考えます。本セミナーでは北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部が取りまとめ役となり、森林に関係する多彩な講師が参加します。受講生は内外の専門家を含む講師との意見交換や学生同士の討論を行い、グループで発表を実施するプロセスを学ぶことができます。また、セミナーを通じて、参加者がテーマに関する知識のみならず、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけることも目的としています。

本セミナーは3泊4日の合宿形式です。最初の3日間は北海道大学が所有する苫小牧研究林研修棟に滞在し、グループ毎にわかれフィールドワークを通じて持続可能性の観点から森林関連の問題を視察・検討します。フィールドワークは、2日間にわたり、次の3つの課題別に分かれて行われます。コースA：「人と森との共生」白老町で進められている市民を中心とした里山づくりに関するフィールドワーク。コースB：「地域の持続的森林管理と資源循環」むかわ町におけるバイオマスによる木質ペレットやその資源化。コースC：「自然環境の保全」ウトナイ湖・支笏洞爺国立公園（環境省）や支笏湖周辺の国有林（北海道森林管理局）における自然環境保全の取り組み。また、最終日には、北大キャンパス情報教育館多目的中講義室に場所を移し、参加者によるグループ毎の発表及び公開講座を実施します。

UNU Global Seminars are conducted annually in several locations throughout Japan and abroad to enhance awareness among students and young professionals about contemporary global issues and the role of the United Nations in addressing them. The 7th Hokkaido Session will be held in August at Hokkaido University (Sapporo) and the Tomakomai Experimental Forest. The theme of this year's session is "Forests and the Environment in the Era of Globalization - Considering Global Sustainability in Hokkaido". The Hokkaido Session will provide an opportunity for participants to discuss what we must do to preserve a healthy environment for the next generation. During fieldwork, participants will explore this global environmental challenge by observing sites where local residents are actively working on environmental conservation and energy issues. The Hokkaido University Initiative for Sustainable Development (HUISD), which will play a coordinating role for the session, has invited a variety of forestry experts to give lectures. Participants will learn the process of making a group presentation through discussing the issues among themselves and exchanging views with the lecturers. Thus, participants not only will be able to acquire knowledge in this area but also will have an opportunity to improve their communication and presentation skills.

The seminar will be structured as a four-day, three-night camp. The first three days will be based at Hokkaido University's Tomakomai Experimental Forest Training Centre. Participants will be divided into several smaller groups to inspect sites facing forest management challenges and to discuss existing problems from the viewpoint of sustainability. The fieldwork will focus on three diverse themes. Course A, "Harmonious coexistence of humans and forests", will include fieldwork in Shiraoi Town, where city residents are working to construct "satoyama" (a natural, harmonious environment of human life and diverse ecosystems, such as forests). Course B, "Community-based forest management and resource recycling", will incorporate fieldwork in Mukawa-cho, where wooden pellets are produced by a biomass technology and utilized as a resource. Course C, "Conservation of the environment", will involve fieldwork at the National Park of Lake Utonai and Shikotsu (Ministry of the Environment) and national forests (Hokkaido Regional Forest Office). The final day of the Hokkaido Session will be held in the Lecture Hall of the Information Education Center at the Hokkaido University Sapporo Campus. Activities will include group presentations by the participants and a public lecture.

諮問委員 Advisory Committee Members

委員長 Chairperson

佐伯 浩
Hiroshi SAEKI
北海道大学 総長
President, Hokkaido University

委員 Members

村山 紀昭
Noriaki MURAYAMA
北海道教育大学 学長
President, Hokkaido University of Education

秋山 義昭
Yoshiaki AKIYAMA
小樽商科大学 学長
President, Otaru University of Commerce

朝倉 利光
Toshimitsu ASAKURA
北海学園大学 学長
President, Hokkai-Gakuen University

金井 新二
Shinji KANAI
北星学園大学 学長
President, Hokusei Gakuen University

南山 英雄
Hideo MINAMIYAMA
北海道経済連合会 会長
Chairperson, Hokkaido Economic Federation

高向 巖
Iwao TAKAMUKI
(社)北海道商工会議所連合会 会頭
President, The Federation of Hokkaido Chamber of Commerce and Industry

坂本 眞一
Shinichi SAKAMOTO
北海道経済同友会 代表幹事
Co-chairperson, Hokkaido Committee for Economic Development

佐々木 正丞
Masatsugu SASAKI
北海道経営者協会 会長
President, Hokkaido Employers' Association

北海道
Hokkaido Government

札幌市
City of Sapporo

高島 肇久
Hatsuhisa TAKASHIMA
国連大学 学長特別顧問
Special Adviser to the Rector
United Nations University

(敬称略)

プログラム委員 Programme Committee Members

委員長 Chairperson

本堂 武夫
Takeo HONDO
北海道大学副学長/理事国際戦略本部グローバルマネージャー
Vice President/Global Manager, Hokkaido University
Initiative for Sustainable Development (HUISD),
Hokkaido University

委員 Members

柿澤 宏昭
Hiroaki KAKIZAWA
北海道大学農学研究院 教授
Professor, Department of Agriculture, Hokkaido
University

笹 賀一郎
Kaichiro SASA
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授
Professor, Field Science Center for Northern
Biosphere, Hokkaido University

豊田 雅朝
Masatomo TOYODA
北海道大学国際戦略本部 特任准教授/プロジェクトプランナー
Associate Professor, Hokkaido University Initiative
for Sustainable Development (HUISD), Hokkaido
University

大津 和子
Kazuko OTSU
北海道教育大学教育学部 教授
Professor, Department of Education, Hokkaido
University of Education

片岡 正光
Masamitsu KATAOKA
小樽商科大学商学部 教授
Professor, Department of Commerce, Otaru
University of Commerce

古林 英一
Eiichi FURUBAYASHI
北海学園大学経済学部 教授
Professor, Department of Economics,
Hokkai-Gakuen University

野本 啓介
Keisuke NOMOTO
北星学園大学経済学部 准教授
Associate Professor, Department of Economics,
Hokusei Gakuen University

細川 俊郎
Toshiro HOSOKAWA
北海道経済連合会 次長
Deputy General Manager, Hokkaido Economic
Federation

高島 肇久
Hatsuhisa TAKASHIMA
国連大学 学長特別顧問
Special Adviser to the Rector, United Nations
University

(敬称略)

セミナー・プログラム *Seminar Programme*

8/22 Wed.	AM	参加登録 札幌 (北海道大学) 集合 10:00 苫小牧 (JR 苫小牧駅) 集合 12:00	Registration at Sapporo (Hokkaido University) 10:00 at Tomakomai (JR Tomakomai Station) 12:00
	PM	開会式 (苫小牧研究林) 講義 1 「足元から考える森林と社会の未来」 柿澤 宏昭 苫小牧研究林見学 歓迎レセプション (野外バーベキュー)	Opening Ceremony Lecture 1 "The Future of Forests and Our Society in Local Perspective" Hiroaki Kakizawa Site Survey at Tomakomai Experimental Forest Welcome Reception (Barbecue Party)
8/23 Thu.	AM	フィールドワーク 1 日目 コース A : 人と森との共生 (白老町) コース B : 地域の持続的森林管理と資源 循環 (むかわ町) コース C : 自然環境の保全 (ウトナイ湖及び支笏湖, 苫小牧市)	Field Work Day 1 Course A : "Harmonious Coexistence of Humans and Forests" (Shiraoi Town) Course B : "Community-Based Forest Management and Resource Recycling" (Mukawa-cho) Course C : "Conservation of the Environment" (Lake Utonai & Lake Shikotsu, Tomakomai-city)
	PM	フィールドワーク 1 日目 グループ討論	Field Work Day 1 Group Discussion
8/24 Fri.	AM	講義 2 「熱帯雨林と地球温暖化」 馬 桓玉 講義 3 「持続可能な森林マネジメントのための伝 統的知識と手法の活用」 梁 洛輝	Lecture 2 "Tropical Forest and Climate Change" Hwan Ok Ma Lecture 3 "Building on Indigenous Practices for Sustainable Forest Management" Luohui Liang
	PM	フィールドワーク 2 日目 グループ討論 発表準備	Field Work Day 2 Group Discussion Preparation for Presentation
8/25 Sat.	AM	北海道大学へ移動 公開講座 「森林破壊の現状と未来」 石 弘之 グループ発表 (一般公開) 閉会式 フェアウェル・ランチ	Transfer to Hokkaido University (Sapporo) Public Lecture "The Present and Future of Forest Deterioration" Hiroyuki Ishi Group Presentations Closing Ceremony Farewell Lunch

実行委員 *Steering Committee Members*

委員長 Chairperson	本堂 武夫 Takeo HONDO	北海道大学副学長 / 理事・国際戦略本部グローバルマネージャー Vice President / Global Manager, HUISD of Hokkaido University
副委員長 Vice-Chairperson	大和田 勲 Isao OWADA	北海道経済連合会 専務理事 Co-chairperson, Hokkaido Economic Federation
委員 Members	笈 克彦 Katsuhiko KAKEI	国際協力機構 (JICA) 札幌国際センター 所長 Director, Sapporo International Center, Japan International Cooperation Agency
	町田 真英 Shin-ei MACHIDA	北方圏センター 副会長兼専務理事 Vice-president, Northern Regions Center
	大聖 憲俊 Noritoshi DAISHO	札幌国際プラザ 専務理事 Co-chairperson, Sapporo International Communication Plaza

(敬称略)

講師 *Lecturers*

石 弘之 Hiroyuki ISHI	北海道大学公共政策大学院 教授 Professor, Hokkaido University Public Policy School (HOPS)
柿澤 宏昭 Hiroaki KAKIZAWA	北海道大学農学研究院 教授 Professor, Department of Agriculture, Hokkaido University
馬 桓玉 Hwan Ok MA	国際熱帯木材機関木材工業担当事業部長 Projects Manager, International Tropical Timber Organization (ITTO)
梁 洛輝 Luohui LIANG	国連大学「環境と持続可能な開発」 プログラム学術研究官 Academic Programme Officer, Environment and Sustainable Development Programme, United Nations University

(敬称略)

参加申込要領

Application Information

■ **参加資格** : 原則として日本の大学に在籍する学部生、大学院生、留学生で、専攻分野は問いません。テーマに関心のある日本在住の若い社会人（テーマについての専門家および大学等ですでに教鞭をとられている方は除く）も歓迎します。通訳はつきませんので、日本語と英語をある程度理解できることがもとめられます。

■ **期 間** : 2007年8月22日（水）～8月25日（土）
22日午前北海道大学（札幌市）あるいは、JR 苫小牧駅にて参加登録。25日昼食後解散。詳細は追って通知します。なお、セミナー期間中、受講生は合宿の上、全プログラムに参加するものとします。

■ **場 所** : セミナー&宿泊：北海道大学苫小牧研究林
〒053-0035 北海道苫小牧市字高丘
Tel : 0144-33-2171 / Fax : 0144-33-2173

公開講座：北海道大学
〒060-0808 北海道札幌市北区北8西5
Tel : 011-706-2916 / Fax : 011-706-2095
URL : <http://www.hokudai.ac.jp/>

■ **定 員** : 36名

■ **費 用** : 一人25,000円（宿泊費、食費、資料代込。但し交通費は除く）。なお、留学生（月々134,000円以上のいかなる奨学金を受給している人を除く）は選考により参加費用が一部免除されます。免除は、一つのセミナーで受けた場合、同年度の他のセミナーで受けることはできません。

■ **修了証** : セミナーの全プログラムを履修し、所定の手続きを完了した参加者には、国連大学から修了証が交付されます

■ **応募方法** : 所定の申込用紙に必要事項を記入、申込用紙裏面に参加目的を書いた小論文を記載し、下記へ送付して下さい。郵便、ファックス、電子メールいずれでも可。申込用紙は、国連大学のホームページからも入手できます。

■ **事務局** : 〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70
国連大学グローバル・セミナー
北海道セッション事務局
Tel : 03-3499-2811（代表）/ Fax : 03-3499-2828
E-mail : gshokkaido@hq.unu.edu
URL : <http://www.unu.edu/gs>
オフィスアワー：月・金 9:30-13:00 / 14:00-17:30

■ **応募締切** : 2007年7月3日（火）必着

■ **合格通知** : 応募者はプログラム委員によって審査され、結果は7月下旬に郵送されます。

■ **集合場所** : 2007年8月22日（水）
① 10:00 北海道大学学術交流会館前
（正門を入ってすぐ左の建物）
* 新千歳空港からJR札幌駅まで電車（快速エアポート）で約45分、JR札幌駅から北大正門まで徒歩10分
② 12:00 JR 苫小牧駅前
* 新千歳空港からJR苫小牧駅まで電車で約45分

■ **Requirements for participation** : The seminar is open to Japanese or foreign students enrolled at Japanese universities (undergraduate and graduate students), irrespective of their major. Young professionals residing in Japan and interested in the seminar theme are also welcome, although those working in the subject area are not admissible. Participants are required to understand both English and Japanese.

■ **Date : 22 August - 25 August, 2007 (Wed.-Sat.)**

The registration begins in the morning at Hokkaido University and JR Tomakomai Station on 22 August. The seminar ends on 25 August after a farewell lunch. Participants are required to stay for the entire duration of the seminar.

■ **Venue : Seminar & Accommodation :**

Tomakomai Experimental Forest, Hokkaido University
Ujitakaoka, Tomakomai, Hokkaido 053-0035
Tel : 0144-33-2171 Fax : 0144-33-2173

Public Lecture : Hokkaido University Sapporo Campus
N8W5, Kita-ku, Sapporo Hokkaido 060-0808
Tel : 011-706-2916 / Fax : 011-706-2095
URL : <http://www.hokudai.ac.jp/>

■ **Number of participants : 36**

■ **Fee** : The participation fee of Yen 25,000 covers accommodation, meals, and seminar documentation, but does not include travel expenses to and from the seminar site. Foreign students who do not receive a scholarship of more than Yen 134,000 per month for their study in Japan may apply for a partial waiver of the participation fee. Those who receive a waiver of the participation fee cannot apply for it again for a different UNU Global Seminar during the same academic year.

■ **Certificate** : Each participant will receive a UNU certificate upon successful completion of the seminar.

■ **Application** : Please complete the enclosed application form, writing a brief essay on its reverse, and send it to the following address by post, fax, or e-mail. The form can also be downloaded from the UNU website.

■ **Secretariat** : UNU Global Seminar Hokkaido Session Secretariat
United Nations University
5-53-70, Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150-8925
Tel: 03-3499-2811 / Fax: 03-3499-2828
E-mail: gshokkaido@hq.unu.edu
URL: <http://www.unu.edu/gs>
Office hours: Mon.-Fri. 9:30-13:00 / 14:00-17:30

■ **Deadline for application** : 3 July 2007 (Tue.)

■ **Notification of Selection** : Applications will be reviewed by the Programme Committee. Successful candidates will be notified by the end of July.

■ **Registration** : 22 August 2007 (Wed.)

- ① 10:00 Hokkaido University Conference Hall (Gakujutsu-Koryu-Kaikan)
Right side of the Main Gate of Hokkaido University
*From Shin-Chitose Airport to JR Sapporo St. : 45 min. by the Rapid Train (Kaisoku Airport)
*From JR Sapporo St. to the Hokkaido University Main Gate: 10 min. walk
- ② 12:00 JR Tomakomai St.
*45 min. by train from Shin-Chitose Airport

全学ニュース

国連大学との共催によるグローバルセミナー第7回北海道セッション「グローバル化時代の森林と環境～北の大地で考えるサステナビリティ～」開催

8月22日(水)から25日(土)にかけて、国連大学グローバルセミナー第7回北海道セッションが北海道大学苫小牧研究林及び札幌キャンパスで開催されました。

国連大学グローバルセミナーは、国連の役割や人類が直面している地球規模の問題について、学生や社会人に関心と問題意識を持ってもらうため、全国各地で実施されています。今回の第7回北海道セッションは国連大学と北海道大学の共催で実施されました。全国各地から33名の学生が参加し、北海道大学からは10名の参加がありました。また、本学の大学間交流協定校にも幅広く声をかけたところ、マサチューセッツ大学と復旦大学からも2名の学生が招待参加しました。

今回は総合テーマを「グローバル化時代の森林と環境～北の大地で考えるサステナビリティ～」とし、世界的に環境問題に対する意識が高まるなか、次世代によりよい環境を引き継いでいくためにはどのような取り組みをしていかなければならないかを、実際に森林に身を置いて考えるセミナーとして企画されました。地域における自然環境保全活動やエネルギー問題などへの取り組みに関するフィールドワークを中心としたプログラムが組まれました。

4日間のうち、最初の3日間は苫小牧研修林に滞在し、グループ毎にわかれ、フィールドワークを通じて持続可能性の観点から森林関連の問題について視察・討論を行いました。また、本学農学研究院の柿澤宏昭教授や国連機関の講師陣による講演、苫小牧研究林の研究施

設の見学も実施しました。セミナー初日には、親睦を深めるため、関係者総勢60名による野外バーベキューも行われ好評を博しました。

フィールドワークは、2日間にわたり、3つの課題別に分かれて行われました。

・コースA:「人と森との共生」(支援団体:白老町・ウヨロ環境トラスト・アイヌ民族博物館)

・コースB:「森林と資源循環」(支援団体:むかわ町・穂別苦小牧森林組合)

・コースC:「自然環境の保全」(支援団体:環境省・北海道森林管理局)

最終日は札幌キャンパスに場所を移し、参加者によるグループ毎の研究発表が行われ、引き続き公開講演会として、公共政策学連携研究部の石弘之教授による「森林破壊の現状と未来」と題した講演が開催され、そののち閉会式が執り行われました。

本学はこのような国際機関との教育・研究連携を今後も引き続き実施していく所存です。



グローバルセミナー開催中の
討論の様子

(学術国際部国際企画課・「持続可能な開発」国際戦略本部)

作成日：平成 29 年 3 月

作成者：北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

TEL 011-706-8031 / E メール contact@oia.hokudai.ac.jp

北海道大学国際部国際企画課

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

E メール planning@oia.hokudai.ac.jp
